## 記入日：令和　　年　　　月　　　日

新型コロナ感染症対策にかかる子午線ホール
施設使用料減免（減額）報告書

複合型交流拠点ウィズあかしセンター長　殿

利用者ＩＤ：000

申請者住所：

申請団体名・代表者名：

申請者名：

連絡先：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 利用許可年月日 | 令和 　 年　　月　　日 | 第　　　　　　　号 |
| 催し物名（事業名） |  |
| 利用目的(事業内容) | □音楽発表会 　　□演劇 　　□バレエ　 　□舞踏　 　□パフォーマンス□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 利用日時利用人数ホール利用料 | 令和　　年　　月　　日 | 午前・午後・夜間 | 人 | 円 |
| 令和　　年　　月　　日 | 午前・午後・夜間 | 人 | 円 |
| 令和　　年　　月　　日 | 午前・午後・夜間 | 人 | 円 |
| その他減免有無 | □なし　　　□あり（　　　　　　　　　円） |
| 「芸術文化公演再開緊急支援事業（兵庫県、明石市、(公財)兵庫県芸術文化協会）」表示方法 | □チラシ　□パンフレット　□会場内表示　□その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| 備　考 |  |

【管理者記入欄】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 条例等の規定による額 | 本事業以外の事由による減免後の額 | 減免額 | 本人負担額 |
| 円 | 円 | 円 | 円 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| センター長 | リーダー | 施設 | 担当者 | 感染防止策施設確認者 |
| 　　 |  |  |  |  |

子午線ホール利用における公演主催者の

新型コロナウイルス感染防止策チェック項目

□感染症予防について来場者への周知

　・以下の場合は、入場しないよう来場者へ周知する

①37.5℃以上の発熱

②咳、咽頭痛などの症状がある場合

③新型コロナウイルス感染症が陽性とされた者と濃厚接触がある場合

④過去２週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合

　・来場者に咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底を周知する

　・来場者に社会的距離の確保徹底を周知する

　・場内における会話は控えるよう周知する

□入場時の対応（発熱・咳等症状の確認、入場時の混雑緩和等）

・事前に余裕を持った入場時間を設定し、混雑緩和のための工夫を行う

・会場の入口に手指消毒用の消毒液を設置する

　・入口の行列は最低１ｍ（できるだけ２ｍを目安に）の間隔を空けた整列を促す

　・対面で販売を行う場合、購買者との間を遮蔽するよう努める

□来場者（公演関係者含む）の氏名・連絡先の把握

　・公演ごとに、可能な範囲で来場者の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成・保存するよう努める

　・感染が疑われる者が出た場合、保健所など公的機関による聴き取りに協力し必要な情報提供を行う

□会場内の予防策（マスク着用義務、会話抑制等）

　・接触感染や飛沫感染を防止するため、マスク着用と会話抑制等複合的な予防措置に努める

・講演前後及び休憩中、ホワイエやトイレ等に人が滞留しないよう注意する（段階的な入場など）

　・人と人との距離を最低１ｍ（できるだけ２ｍを目安に）確保するよう注意する

・ホール内やホールエントランス（ホワイエ）で食事を行わないよう注意する

　・室内の換気扇などを利用し、常時換気に努める

□席の配置（前後左右を空ける、舞台前から十分な距離をとる）

　・座席は原則として指定制にするなどして、適切に感染予防措置がとれる席配置とするよう努める

　・座席の最前列席舞台前から十分な距離を取る

□その他必要な処置

　・その他「劇場、音楽堂における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」を遵守し、適宜必要な処置を講じる